

## <佐藤正浩 氏 プロフィール >

神戸市混声合唱団 次期音楽監督

※2021年4月1日就任



佐藤 正浩  
(さとう まさひろ)

東京藝術大学声楽科卒業、ジュリアード音楽院ピアノ伴奏科修士課程終了。一度は声楽家を志すが、師である畑中良輔氏の勧めで伴奏者の道に進む。ジュリアード卒業後、サンフランシスコ・オペラのコレペティトゥアとして活躍を始める。ヨーロッパに渡りリヨン国立歌劇場のコレペティトゥアに就任、音楽監督ケント・ナガノのもと数々の公演やレコーディングに参加する。パリ・シヤトレ座では副指揮者としてチョン・ミュンフンやゲルギエフの薫陶を受ける。1999年、英・ダーティントンの指揮コースに参加、ディエゴ・マソンの指導を受け、この年の優秀者として同フェスティバルの『イドメネオ』を指揮しデビューする。翌年は『ナクス島のアリアドネ』で再度招待され、また同年、新国立劇場小劇場オペラシリーズ『オルフェオとエウリディーチェ』を指揮し日本デビューを果たす。これまでに日生劇場『泣いた赤鬼』『カルメン』、東京オペラプロデュース『放蕩者の遍歴』（ストラヴィンスキー）、

東京室内歌劇場『人間の声』『利口な女狐』、広島オペラルネッサンス『カルメル会修道女の対話』、いずみホール『ランスへの旅』等を指揮する。フランスオペラを得意とし、東京芸術劇場のコンサートオペラシリーズでは毎回フランスオペラを取り上げ、『ドン・カルロス』（パリ版日本初演）『サムソンとデリラ』『真珠とり』『放蕩息子』（ドビュッシー）『ジャミレ』『カルメン』を指揮し好評を得る。一方、ヴェルディもレパートリーとし、『ナブッコ』『仮面舞踏会』『オテッロ』『椿姫』等を藤原歌劇団、オペラ彩で指揮。『ナブッコ』では三菱UFJ信託音楽賞を受賞、また自身でプロデュースしたオペラ『白虎』では佐川吉男賞を受賞する。CDはオペラ『ジャミレ』『白虎』をザ・オペラ・バンドと、また小山由美『憧れを知る者のみが』ではピアニストとして参加、リリースされている。愛知県立芸術大学講師、慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団常任指揮者、ザ・オペラ・バンド音楽監督。